

2019年度 事業報告

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

I 事業の重点目標

- 学校給食の振興を図り、児童生徒及び国民への食育を推進する活動をとおして、児童または青少年の健全育成に寄与する。
- 学校における教育活動に根付いた食育の推進をとおして、児童生徒の健全な育成と豊かな人間形成を目指し、あわせて、保護者をはじめ地域住民など広く国民の心身の健康に寄与する。
- 食育推進の中核である栄養教諭、学校栄養職員の資質の向上を図る。
- 食育推進に係る国の施策の遂行に協力するとともに、国民の健康増進に寄与するための事業を行う。
- 公益社団法人として、社会における役割と責任を自覚した活動を行う。

II 事業内容

公1. 食育の推進事業

(1) 学校給食週間行事の推進

学校給食週間では、学校給食の意義や役割を児童生徒や教職員、保護者、地域の方々の理解と関心を深めるための機会とし、食育活動を推進した。また、全国で行われている食育活動を収集して取り組み事例集を作成した。それを全国の栄養教諭等が共有し参考とした。なお、事例の収集にあたり文部科学省の後援・協力、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会等の協力を得ている。

○期間 令和2年1月24日（金）～30日（木）

- 内容
- ・学校給食週間中における児童生徒への啓発活動を実施
 - ・学校給食に関する保護者や地域の方々への広報活動を実施
 - ・学校給食週間中の取組事例集の作成・発行 9, 300部（平成30年度実施分）
 - ・全国で行われている食育活動の収集（2019年度実施分）

(2) 食育推進リーフレットの作成・配布

本会事業を踏まえたリーフレットを増刷し、食育推進全国大会や「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント等で配布し、食育推進の啓発活動を行った。

・既発行リーフレットの増刷

「よくわかる！学校における食物アレルギー対応」 3, 000枚

「朝ごはんをしっかりと食べて学力をアップさせよう！」 3, 000枚

(3) 食育月間事業—第14回食育推進全国大会—

国の施策である食育月間における「食育推進全国大会」に参画し、啓発資料の配布、掲示、食育活動を展開し、広く国民の心身の健全な発達に寄与する活動を行った。

○期日 令和元年6月29日（土）～30日（日）

○会場 アイメッセ山梨（山梨県甲府市）

- 内容 ・ 掲示 ・ 啓発資料の配布 ・ 参加者対象の食育活動
- ・ 全学栄製品及び全学栄すいせん製品の紹介

(4) 関係団体への協力

食育の推進及び学校給食の振興、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上に関連する他団体の事業に参画し、専門性に基ついた支援や意見提言を行った。

<関係団体>

- ・ **食育推進会議（農林水産省）**・・・専門委員として関与し、食育推進全国大会に出展した
- ・ **「早寝早起き朝ごはん」全国協議会**・・・幹事会の構成員として関与
 - 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会開催イベント（春のキッズフェスタ／秋のキッズフェスタ）でブースを出展し、リーフレットやレシピの配布及び食育体験活動を行った。
- 期日 令和元年5月18日（土）、令和元年10月26日（土）
- 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 内容 ・ パネル展示 ・ 啓発資料の配布
- 対象 親子
- ・ **全国地産地消推進協議会（農林水産省）**・・・幹事会の構成員として関与
- ・ **（公財）日本学校保健会**・・・理事会、評議員会の構成員として関与
- ・ **（公財）学校給食研究改善協会**・・・理事会、評議員会の構成員として関与
 - 全学栄製品及び全学栄すいせん製品等の食材を活用した調理研究事業に参画することにより、学校給食の献立内容を豊かにし、教材としての充実を図るための資質を養った。
 - ① 調理講習会（栄養教諭・学校栄養職員対象）
 - ② 親子料理教室（児童生徒・保護者対象）
 - 実施期間 令和元年7月～令和2年2月
 - 会場 調理講習会（全国 24都道府県）
親子料理教室（全国 24都道府県）
 - 内容 調理講習会・講演
- ・ **（一社）Jミルク**・・・栄養教諭・学校栄養職員・一般教諭等対象の牛乳活用モデル教材による牛乳食育研修会（令和元年9月～11月開催、3会場）に講師及び参加者として関与

公2. 食育推進人材育成事業

(1) 栄養教諭免許状更新講習会

栄養教諭免許状更新講習として、選択領域18時間の講習会を開設し、受講証明書を付与した。

- 期日 令和元年 9月14日（土）～16日（月・祝）
- 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
- 対象 栄養教諭免許状更新該当者 110名

令和2年度開催の栄養教諭免許状更新講習会（1回開催）の受講予約の受付を行った。

(2) 食育推進講習会

栄養教諭をはじめとする食育推進に関わる者及び今後食育に関わることを目指す学生等の専門的知識の修得と指導力の充実に努めることを目的として行った。

近年、学校における食育の推進の中核となる栄養教諭・学校栄養職員の専門的知識や技能の向上が求められており、食育の評価や栄養教諭の配置効果を見える形で示していく必要があることから、食育に関わるものの指導力の充実に努めた。

なお、実施にあたり文部科学省の後援を得ている。

○期日及び人数

【キャリアコース】

第1回 令和元年11月 1日(金)～ 3日(日) 64名

第2回 令和元年11月15日(金)～17日(日) 64名

【一般コース】

第3回 令和元年10月11日(金)～13日(日) 61名

第4回 令和元年11月29日(金)～12月1日(日) 77名

○会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

○対象 本会会員及び一般参加者 総数266名(会員263名、一般3名)

(3) 第55回学校給食夏季講習会

学校給食の食事内容を改善充実に努め、児童生徒の体力増進、食事に対する正しい知識とその実践を図るために必要な事項について研修を行い、栄養教諭・学校栄養職員の資質の向上と学校給食の振興に資することを目的として行った。なお、実施にあたり文部科学省の後援を得ている。

○期日 令和元年7月20日(土)～22日(月)

○会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

○対象 本会会員及び一般参加者 総数132名(会員128名、一般4名)

(4) 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会

平成30年度事業に引き続き、「新しい食育 小学校・中学校 給食時間の指導」の第2編を作成し、栄養教諭等をはじめ関係機関へ配付した。

○組織 栄養教諭のためのカリキュラム検討委員会 5回開催

○刊行 「新しい食育 小学校・中学校 給食時間の指導Ⅱ」 9,200部

(5) 都道府県代表者研修会

本会が取り組む食育を全国的に推進するための知識、手立てを共有し、会員相互の資質向上と食育推進のレベルアップを図る目的で開催した。

<1回> ○期日 令和元年8月6日(火)

○会場 じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市)

○対象 本会会員の都道府県代表者

<2回> ○期日 令和元年12月10日(火)～11日(水)

- 会場 ルポール麹町（東京都千代田区）
- 対象 本会会員の都道府県代表者

(6) 第60回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会

学校における食育の推進にむけて、児童生徒に対する食に関する指導のあり方や学校給食の充実を図る方策について研究協議を行う全国大会であり、文部科学省及び開催地の都道府県教育委員会とともにこの大会を主催した。

- 期日 令和元年8月7日（水）、8日（木）
- 会場 長良川国際会議場（岐阜県岐阜市）
- 対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

(7) 第70回全国学校給食研究協議大会への参加

主催は文部科学省及び開催地の都道府県教育委員会等。学校における食育推進にとって重要な役割を担う学校給食のあり方について、全体会、分科会で研究協議を行い、学校給食関係者の資質向上を図る目的で開催されるこの大会に本会として参加した。

- 期日 令和元年11月7日（木）、8日（金）
- 会場 岡山コンベンションセンター・ままかりフォーラム（岡山県岡山市）
- 対象 栄養教諭・学校栄養職員及び学校給食関係者

(8) 広報活動

① ホームページの充実

本会事業の推進と成果及び調査研究結果等を会員及び広く不特定多数に対し開示するとともに、新たな情報やニーズを把握して随時リニューアルを図った。

② 機関誌「公益社団法人全国学校栄養士協議会報」を会員及び本会関係者に配付した。

第74号（令和元年8月29日発行）、第75号（令和2年1月31日発行）各9,500部

③ 公益社団法人全国学校栄養士協議会要覧を発刊し、会員へ配付した。11,000部

公3. 健康増進調査研究事業

(1) 食生活実態調査

児童生徒の健康増進に関する調査研究及び学校給食の振興に関する調査研究を行い、課題解決の具体的方策を検討した。あわせて、研究の成果を広く一般に公表した。

① 研究推進助成事業

○内容 都道府県学校栄養士研究団体又は会員団体が行う食育に関わる研究を募集し、審査の上で助成した。

○助成費 1年間、1件10万円、2年間まで。5件

- ・千葉県 研究題目 「ちばの野菜と果物大好き！」な子どもを育てる
- ・静岡県 研究題目 児童の朝食摂取状況に基づく異なる対象者への朝食指導介入による教育効果の検討
- ・広島県 研究題目 栄養教諭導入による学校給食の変化と食育展開の波及効果4

～塩分減少の方法を主食の残食率からさぐる～

- ・愛媛県 研究題目 地場産物を活用した学校給食の推進を学校から地域へ
- ・宮崎県 研究題目 宮崎県内中学生における「スポーツ栄養サポート」の取組について～栄養教諭を中核としたPDCAに沿った取組～

○報告書 平成30年度助成先（愛媛県）について、都道府県代表者研修会等で研究の成果を発表し、機関誌に掲載した。

② 食育推進実態調査

○内 容 食育推進状況を把握し、指導に活かすための手立てについて調査、研究を行なった。また、その結果を会員に報告し、今後の取組に役立てた。

○組 織 食育推進実態調査プロジェクトチーム

○報告書 9,000部

(2) 栄養・衛生・安全管理の徹底を図る事業

学校給食における食中毒防止の徹底を図るため栄養教諭、学校栄養職員が小グループ研究班を編成して学校給食施設を訪問し、衛生管理体制等の現状把握と点検を行った。点検、協議の結果からその改善点を見だし、衛生管理の徹底を図ることを目的とした報告書を作成・配付した。

○実施期間 令和元年度

○対 象 全国学校給食施設

○方 法 小グループによる研究授業方式をとった研究実践（点検・記録・協議）

○報告書 9,300部（平成30年度実施分）

なお、実施にあたり文部科学省の後援・協力、都道府県教育委員会、指定都市教育委員会等の協力を得ている。

(3) 学校給食用食品の研究開発

学校給食への優良な物資の供給を図ることをとおして、学校給食の振興に寄与し児童生徒の心身の健康に資することを目的として検討、見直しを図った。

① 災害時における非常食の開発

災害発生による非常時においても、成長期の子どもたちに栄養バランスのとれた食を提供することができるために、災害時学校給食用非常食を開発し、子どもたちの心身の安定と体力保持に寄与することを目的として検討した。

○組織 災害時学校給食用非常食開発委員会（4回開催）

○内容 食品開発の検討

○普及活動

- ・サンプル配付（救給カレー、救給根菜汁、救給コーンポタージュ、救給五目ごはん）
各46箱

- ・啓発チラシの作成、配布（非常食四種合併版 12,000枚）

② 全学栄製品及び全学栄すいせん製品の選定と献立研究

全学栄製品「豚レバーチップ」の開発を行った。

全学栄すいせん製品の見直しを行った。

- ・「ソフトササミフレーク」、「ほぐしささみ（水煮）」の原材料（食塩）の変更

- ・ 毎日骨太MBP「ベビーチーズ」の使用変更、「チーズキャッチ」の終売
- ・ 「救給五目ごはん（もち玄米入り）」の表示変更
- ・ 「白花豆コロッケ」の原材料及び配合変更
- ・ 「かぼちゃチーズフライ」、「スクールチーズフォンデュサンドコロッケ」の工場変更

Ⅲ 会議

総会・理事会・都道府県代表者を下記のとおり開催した。

会議名	回数	期 日	内 容
理事会	第1回	令和元年 5月19日(日)	平成30年度事業報告及び収支決算 定時総会の開催、令和2年度正会員 ・賛助会員の入会金及び会費、理事 の選任等
都道府県代表者会	第1回	令和元年 6月 6日(木)	平成30年度事業報告及び収支決算 令和2年度正会員・賛助会員の入会 金及び会費、2019年度事業推進 計画
定時総会		令和元年 6月 7日(金)	平成30年度事業報告及び収支決算 令和2年度正会員・賛助会員の入会 金及び会費、理事の選任等
理事会	第2回	令和元年 6月 7日(金)	組織編成
理事会	第3回	令和元年 8月 6日(火)	事業報告
理事会	第4回	令和元年10月27日(日)	2019年度正会員、賛助会員入会、 規程変更、栄養教諭免許状更新講習 会の開催回数、事業報告
理事会	第5回	令和元年12月10日(木)	事業報告
理事会	第6回	令和2年 2月15日(土)	令和2年度事業計画及び収支予算、 令和2年度賛助会員入会、規程制定
理事会(書面開催)	第7回	令和2年 3月11日(水)	2019年度正会員入会
都道府県代表者会	第2回	令和2年 3月11日(水) ～12日(木)	不開催

IV 事業報告の附属明細書

- 1 補足すべき重要な事項
該当事項はありません。